



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名	中央魚類株式会社	上場取引所	東
コード番号	8030 URL https://www.chuogyorui.com		
代表者	(役職名) 代表取締役社長執行役員	(氏名) 今村 忠如	
問合せ先責任者 (役職名)	取締役執行役員管理本部本部長	(氏名) 福元 勝志	TEL 03-6633-3000
半期報告書提出予定日	2025年11月13日	配当支払開始予定日	未定
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	76,996	5.5	1,837	11.6	2,087	7.0	1,214	15.6
2025年3月期中間期	73,012	13.5	2,079	74.6	2,246	69.6	1,438	23.8

(注)包括利益 2026年3月期中間期 2,750百万円 (133.6%) 2025年3月期中間期 1,177百万円 (-53.6%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	304.04	
2025年3月期中間期	360.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	80,867	36,013	42.4
2025年3月期	74,760	33,811	42.9

(参考)自己資本 2026年3月期中間期 34,248百万円 2025年3月期 32,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期				120.00	120.00
2026年3月期(予想)				120.00	120.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	150,000	0.1	3,300	2.2	3,600	2.6	2,500	13.8

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2.中間連結財務諸表及び主な注記(3)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

	2026年3月期中間期	2025年3月期	4,315,300 株
--	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

	2026年3月期中間期	321,046 株	2025年3月期
--	-------------	-----------	----------

期中平均株式数(中間期)

	2026年3月期中間期	3,994,254 株	2025年3月期中間期
--	-------------	-------------	-------------

	2026年3月期中間期	3,994,434 株	2025年3月期中間期
--	-------------	-------------	-------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きな異なる可能性があります。業績予想前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「P.2「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や、堅調に推移するインバウンド需要を背景に、緩やかな回復を維持しました。一方で、食品や生活必需品の物価上昇による消費者の節約志向の高まりや米国の通商政策による世界経済の変動も予想され、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループの中核事業である水産物卸売事業においては、さんま並びに冷凍加工品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比増加しました。一方、営業利益は原料相場の高騰もあり、前年同期比減少しました。また冷蔵倉庫事業は入庫数量の減少、電力料や人件費の増加により売上、利益ともに前年同期比減少しました。

その結果、当社グループの売上高は76,996百万円（前年同期比5.5%増）となり、営業利益は1,837百万円（前年同期比11.6%減）、経常利益2,087百万円（前年同期比7.0%減）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、1,214百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

(水産物卸売事業)

当中間連結会計期間においては、食品スーパー、外食等への販売が好調に推移した結果、売上高72,397百万円（前年同期比5.8%増）となりましたが、原料相場高によりセグメント利益は1,064百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

(冷蔵倉庫事業)

当中間連結会計期間においては、保管料並びに荷役料の値上げを実施しましたが、入庫数量の減少により、売上高は3,940百万円（前年同期比1.6%減）となり、電力料や人件費の増加によりセグメント利益は446百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当中間連結会計期間においては、売上高は359百万円（前年同期比19.2%増）となり、セグメント利益は299百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

(荷役事業)

当中間連結会計期間においては、さんまの水揚げ好調により荷役取扱数量の増加、配送部門の売上増加もあり、売上高は299百万円（前年同期比12.0%増）となり、セグメント利益は26百万円（前年同期比108.4%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金の増加1,265百万円、商品及び製品の増加2,647百万円、投資有価証券の増加2,148百万円などにより、6,107百万円増の80,867百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金の増加583百万円、短期借入金の増加4,500百万円、繰延税金負債の増加680百万円、長期借入金の減少921百万円などにより3,905百万円増の44,854百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上1,214百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,475百万円、剰余金の配当による減少479百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,201百万円増の36,013百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2025年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	5,529	6,795
売掛金	12,622	13,233
商品及び製品	11,425	14,073
原材料及び貯蔵品	50	59
その他	301	420
貸倒引当金	△339	△284
流动資産合計	29,590	34,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,637	18,050
機械装置及び運搬具（純額）	1,274	1,208
土地	6,218	6,218
リース資産（純額）	1,011	1,019
その他（純額）	232	208
建設仮勘定	9	30
有形固定資産合計	27,385	26,734
無形固定資産		
借地権	2,516	2,516
その他	1,160	1,145
無形固定資産合計	3,676	3,662
投資その他の資産		
投資有価証券	12,514	14,663
長期貸付金	41	21
差入保証金	288	287
繰延税金資産	546	471
退職給付に係る資産	644	654
その他	196	168
貸倒引当金	△123	△94
投資その他の資産合計	14,108	16,172
固定資産合計	45,170	46,569
資産合計	74,760	80,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	11,434	12,018
短期借入金	3,525	8,025
1年内返済予定の長期借入金	2,097	1,921
未払金	466	235
未払法人税等	1,108	756
賞与引当金	410	471
役員賞与引当金	44	—
修繕引当金	30	30
その他	2,333	2,076
流动負債合計	21,449	25,533
固定負債		
长期借入金	13,614	12,692
長期未払金	87	104
繰延税金負債	2,814	3,495
役員退職慰労引当金	14	10
退職給付に係る負債	1,458	1,535
その他	1,509	1,482
固定負債合計	19,498	19,320
負債合計	40,948	44,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,995	2,995
資本剰余金	18	18
利益剰余金	23,007	23,742
自己株式	△701	△701
株主資本合計	25,319	26,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,653	8,128
退職給付に係る調整累計額	64	64
その他の包括利益累計額合計	6,717	8,193
非支配株主持分	1,774	1,764
純資産合計	33,811	36,013
負債純資産合計	74,760	80,867

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	73,012	76,996
売上原価	65,488	69,366
売上総利益	7,524	7,630
販売費及び一般管理費	5,445	5,792
営業利益	2,079	1,837
営業外収益		
受取利息	11	1
受取配当金	234	262
持分法による投資利益	3	6
その他	43	68
営業外収益合計	293	338
営業外費用		
支払利息	88	78
その他	37	9
営業外費用合計	126	88
経常利益	2,246	2,087
特別利益		
事業整理損失引当金戻入額	46	—
投資有価証券売却益	80	12
特別利益合計	127	12
特別損失		
固定資産除却損	—	27
減損損失	—	9
商品廃棄損	—	11
特別損失合計	—	47
税金等調整前中間純利益	2,374	2,052
法人税等	866	778
中間純利益	1,507	1,273
非支配株主に帰属する中間純利益	69	59
親会社株主に帰属する中間純利益	1,438	1,214

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,507	1,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△329	1,475
退職給付に係る調整額	△1	0
その他の包括利益合計	△330	1,476
中間包括利益	1,177	2,750
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,107	2,690
非支配株主に係る中間包括利益	69	59

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売上高						—	
外部顧客への売上高	68,438	4,005	301	267	73,012	—	73,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	208	172	169	551	△551	—
計	68,439	4,214	474	436	73,564	△551	73,012
セグメント利益	1,225	565	275	12	2,079	0	2,079

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額(注)2
	水産物 卸売事業	冷蔵倉庫 事業	不動産 賃貸事業	荷役事業	計		
売上高						—	
外部顧客への売上高	72,397	3,940	359	299	76,996	—	76,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	203	160	170	551	△551	—
計	72,414	4,144	519	470	77,548	△551	76,996
セグメント利益	1,064	446	299	26	1,836	1	1,837

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「水産物卸売事業」セグメントにおいて、9百万円の減損損失を計上しております。